

# レファレンスだより 2015年3月号 No.148

福岡市総合図書館 図書サービス課 相談係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報誌です。

## ■レファレンス受付件数(2014年12月分)

参考	人文	社会	自然	郷土
22	1,161	290	197	345
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
476	107	764	1,102	4,464

(開館日 22日 一日平均 203件)

## 今月の特集!

# 桜 さくら

桜の開花が待ち遠しい時期になりました。

「さくら」と「咲く」は「 $3 \times 9 = 27$ 」になるため

3月27日は「さくらの日」だそうです。

今月は桜にまつわる本を厳選してご紹介します。

## 桜を見る

『花咲う (はなわらう) : 被災地の櫻と復興』

廣済堂出版 2013年 (総合図書館)

\* 季節がめぐり、また花が咲きました。

『九州の一本桜』梅野 秀和/著 梓書院 2009年

(総合図書館ほか)

## 桜を使う

『東北地域産業史』岩本 由輝/著

刀水書房 2002年 (総合図書館)

\* 桜の樹皮を素材とする工芸品、樺細工 (かばざいく)は秋田の特産品です。

『桜舞う : 桜染めの本』彩 町子/著

海鳥社 2001年 (総合図書館)

## 桜を守る

『花かげの物語』土居 善胤/著

出窓社 2002年 (総合図書館ほか)

\* 福岡市南区にある「桜原桜」の心温まる物語。

『桜守三代 : 佐野藤右衛門口伝』

鈴木 嘉一/著 平凡社 2012年 (城南図書館)

## 日本人と桜

『桜信仰と日本人』田中 秀明/監修

青春出版社 2003年 (総合図書館ほか)

『桜と日本文化』小川 和佑/著

アーツアンドクラフツ 2007年 (西部図書館)

## おすすめ

『あん』ドリアン助川/著

ポプラ社 2013年 (総合図書館ほか)

\* 今年の桜はちょっと違って見えるかも…。

映画公開も控えています。

福岡城さくらまつり

3月26日(木)~4月5日(日)

場所:福岡城跡(舞鶴公園)

桜の開花状況によって

日程変更の場合があります



## こんな質問がありました！

Q：「四十八茶百鼠（しじゅうはっちゃんねず）」とは何か？江戸時代の染色に関する言葉らしい。  
（人文科学）

### ■色彩-辞典

『色の用語事典』（長谷井 康子/著 新星出版社 2006年）2階 C13 R757.3/h

江戸時代にさまざまな茶色や灰色が大流行したことを表す言葉であり、四十八や百は実際の数ではなく多いことを意味している。江戸時代は火事が多かったため「灰」は縁起が悪かったため「鼠色」という言い方が多かったようであると書かれている。

『日本の色辞典』（吉岡 幸雄/著 紫紅社 2000年）2階 C13 R757.3/3

庶民の華美、贅沢を禁じた幕府の奢侈禁止令に対して人々が茶や黒、鼠系統の地味な色合いにさまざまな変化をつけて、それぞれの色に、当時人気の歌舞伎役者や風月山水などの名前をとってつけ楽しんだと書かれている。当時刊行された文献などから拾った茶色系統、鼠色系統の色名も記されている。

### ■色彩-図書

『色彩の宇宙誌』（城 一夫/著 明現社 1993年）閉架書庫

江戸中期から末期に流行した茶系統・鼠色系統の色の代表的なものについて色名と特徴を示した表が載っている。

『自然の色と染め』（木村 光雄/著 木魂社 1997年）閉架書庫

江戸時代の伝統色名に多い茶色系統や鼠色系統について、「四十八茶に百鼠」といわれるとして、それぞれの色調の相互関係を図上に示している。

『日本の伝統色彩』（長崎 盛輝/著 京都書院 1988年）2階 B18 757.3/t

江戸時代の茶系と鼠系の色の流行について書かれた〈附説〉の中で、「四十八茶、百鼠」の呼び名も出ている。それぞれの色名については色票や該当する英色名も載っている。

Q：コミュニティカフェについて知りたい（社会科学）

### ■関連する本を探す

『コミュニティ・カフェをつくろう！』（WAC/編 学陽書房 2007年）1階ポ67 335.8/3

飲食を提供するだけでなく、「たまり場」「居場所」となるようなカフェを、コミュニティ・カフェとして紹介している。子育て世代やシニア世代向き、同じ趣味をもつ人、エコロジーやスローライフに関心のある人のためなど、カフェによって特色があることもあり、イベントを開いたりもする。

この本ではいくつかのコミュニティ・カフェを紹介すると共に、運営方法についての案内がある。

### ■雑誌記事を確認する

『月刊社会教育』2004年6月号（国土社） 閉架書庫

「コミュニティ・カフェの可能性」という記事がある。名古屋市の「クニハウス」というカフェは、かつての住まいを利用している。建物の改装は大学で建築を学ぶ学生たちが担当したとある。近所の子どもたちや高齢者、障がいのある方や引きこもりの人も訪れる。

取材の日は、保育園の子どもたちが、2階の和室でクリスマス会を開いていたとある。

### ■データベースで新聞記事を探す

『朝日新聞』2013年9月17日 朝刊 大分県版

大分県の由布院町にある「原っぱカフェ」の記事がある。週1回、「昼食会」（500円）と「お茶会」（200円）が交互に開かれ、地域の人たちが集まるとある。1人暮らしの高齢者が、毎週おしゃべりができるのが楽しみと、足を運ぶ様子が記述されている。



## Q：ホルトの油とは何か？（自然科学）

### ■辞典を引き、出典を遡っていく

『日本国語大辞典 第12巻 第2版』

（小学館国語辞典編集部/編集 小学館 2001年）2階C1 R813.1/-

『日本国語大辞典』は、全13巻の国語辞典。「オリーブ油。ポルトガル。」との説明がある。この項の出典が『言海』となっている。これは、明治24年に完成した、日本初の近代的国語辞典。所蔵している『言海』は、旧かな使いの本とマイクロフィルムなので使いにくい。



『大言海 新編版』（大槻 文彦/著 富山房 1982年）2階B1 R813.1/才

『大言海』は『言海』を増補改訂した辞書。「ホルトのあぶら」の説明には「前前條ノ語ノ（一）ヲ見ヨ。」となっている。

前前條の語「ポルトガル」の（一）には「橄欖ト云フ樹ノ實ヨリ採ル油ノ名。初、蘭人、<sup>ほるとがる</sup>葡萄牙ノ産ヲ渡セルガ故ニ名トス。略シテ、ほるとのあぶら。……」との説明があり、出典は『本朝食鑑』となっている。「胡麻」の項に説明があるようだが、字が小さく漢文調となっているため理解しにくい。

『本朝食鑑 1（東洋文庫）』（人見 必大/著 島田 勇雄/訳注 平凡社 1976年）2階東洋文庫 499.9/ㄷ

1巻に「胡麻」の説明がある。その中の「胡麻油」に「今、瘍科（外科）では、専ら胡麻油で膏を煉って、諸瘡、<sup>きりきず</sup>金傷を治している。阿蘭陀流を学ぶものは<sup>ほるとがる</sup>保留止加流の油を用いている。……」との説明があり、昔はオリーブ油を傷薬として用いていたことも分かる。

## Q：貧困の定義について。以前は1日1ドル以下を貧困としていたが、1日1.25ドル以下と書いてあるものを目にする。いつから変わったのか、また貧困の人口の割合などを教えてほしい。（国連）

### ■所蔵資料

『World development indicators 2014』（The World Bank 2014年）2階国連A1

上記資料によると次のことがわかる。

- International poverty line（国際貧困線）は、1990年以降は1985年国際価格で計測、購買力平価（PPP s）に基づき1日1ドルを基準とした。
- 2005年に、International Comparison Program（ICP＝国際比較プログラム）で見直しが行われ、新たに1日1.25ドル未満と定めた。また、表「Poverty rates」では、国別、調査年別で貧困線以下で生活する人口の割合や地域別の傾向がわかる。ICPについては総務省HPを参照。

『世界経済・社会統計 2012』（世界銀行/編 柘風舎 2014年）2階C16 R330.59/ㄷ

上記図書は2012年日本語版。

『世界開発報告 2007 経済開発と次世代』（世界銀行/著 一灯舎 2007年）2階D12 333.6/ㄷ

国際貧困線の日本語解説あり。

### ■インターネット

総務省【<http://www.soumu.go.jp/>】検索ボックスにICPを入力

『世界の購買力平価と実質支出 2005年国際比較プログラム（仮訳）』の全文を見ることができる。

世界銀行東京事務所ホームページ【<http://www.worldbank.org/ja/country/japan>】>オープンデータ>分野別データの「貧困」世界の貧困率や貧困人口、格差、公正に関するデータがまとめられている。

※「2階C1」などと表記しているものは総合図書館の棚番号です。また、「813.1」などと表記しているものは分類番号で、数字の左にRが付いている資料、郷土資料は貸出ができませんので、館内でご覧ください。本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



## “図書特別整理”って 何をしているの？

総合図書館は、3月9日(月)から3月16日(月)まで“図書特別整理期間”として休館します。この期間、図書館の中ではこんな作業をしています。

- ① 書架にある本(約60万冊)を機械で読み込む。
- ② 場所の違う本を正しい書架に戻す。
- ③ 所在不明の本を全館にわたり調べる。
- ④ 資料の配置を見直し、館内の表示を変更する。
- ⑤ 書架の整理や掃除。

ところで図書館員の間では、この特別整理のことを「曝書」と呼んだりします。「曝」の字には「日にさらす」の意味があり、「曝書」は本来、和書の虫干しのことです。古書を広げて日光にあて風を通し、紙魚(しみ)などの害を防ぐことを目的とした年中行事でした。実際に本を虫干しすることはなくなっても、呼び方には昔の名残が見えます。

休館中はご不便をおかけしますが、より利用しやすい図書館で皆様をお迎えできるようがんばっていますので、どうぞご理解ください。

参考資料：『最新図書館用語大辞典』図書館用語辞典編集委員会／編 柏書房 2004年  
『新漢語林 第2版』鎌田 正／著 米山 寅太郎／著 大修館書店 2011年



## 総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号	タイトルコード
人文	モディアノ中毒： パトリック・モディアノの人と文学	松崎 之貞／著	国書刊行会	950.28/マ	1000001291577
	美術館とナショナル・アイデンティティー	吉荒 夕記／著	玉川大学出版部	706.9/ヨ	1000001288509
社会	東日本大震災と地域産業復興 4 2013.9.11～2014.9.11	関 満博／著	新評論	369.31/セ	1000001291275
	ユネスコスクール： 地球市民教育の理念と実践	小林 亮／著	明石書店	371.5/コ	1000001282620
自然	だし=うま味の事典	星名 桂治／著	東京堂出版	498.51/タ	1000001282503
	イヌの動物行動学：行動、進化、認知	アダム・ミクロシ／著	東海大学出版部	645.6/ミ	1000001286552



## 今月の展示 ～総合図書館2階 展示図書のご案内

毎月4つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

2・3月の展示は

人文科学 「フランス」  
 社会科学 「女性の力」  
 自然科学 「暦とその周辺」  
 国際 「世界の女性史」

